

コミュニティ活動研究会 活動記録 (2016年度)	
活動名	としま NPO 推進協議会主催「池袋西口公園フリーマーケット」出店
報告者氏名(期)	古根村正 (9期生)
参加者	坂田会長、村上さん、斎藤さん、小沢さん、小島さん、竹田さん、古根村(記録)、 コミ研以外：高橋(輝)先生、上田(恵)先生、RSSCの8期生、9期生やOB・OG
参加日時	11月25日(金)13時 ラウンジにて値付け(村上さん、小島さん他)、搬送準備 11月26日(土) 8:30 ラウンジから台車で会場へ搬送開始、(坂田会長、小沢さん、古根村) 8:50 会場にて、「とN協」の会場設置支援 9:00 フリマ設置場所決定(2区画)、設営準備 10:00 販売開始 【交替で昼食事】 ※顧客のピークは午前中(真剣に買いたい人)、午後(物見の人)、14時過ぎ(閑散) 15:10 閉店片付け(残商品や紙袋、シートなどは「とN協」に運搬依頼) 15:40 養老乃瀧(ダンボール箱は養老乃瀧に廃棄依頼)
主催者HP	http://www.toshima-npo.org/toshima-npo/html/10.ikenishi-freema.html
場所	池袋西口公園 11/24(木)の観測史上11月初の雪の後の寒さだが陽ざし(約12度)
活動の経緯	7月：“フリマ開催”の命を受け、3名でサンシャインフリマ見学、「閑散としているね」 9月：11/26の西口公園フリマへの参加を決定、準備開始、マニュアル作成 10月：チラシ原稿作成開始 11/2：提供品募集のチラシをラウンジに掲示 11/4：クロネコヤマトと2名で搬送相談、「高い!」、箱だけ3こ購入 11/10：チラシ配布(本科110、専攻科60) 11/14ー24：提供品箱ラウンジに設置 11/15：コミ研月例会(松本楼)でフリマ打ち合わせ(とN協の幅上氏参加) 11/24：「学を語る」でコミ研とフリマの「提供品感謝」と「販売員急募」アピール 11/25：値付け、搬送準備 11/26：フリマ実施(12/11 えんがわ市で残商品を販売予定) ※準備の進行状況は逐次、【コミ研フリマ通信】でメンバーへメール送信実施
問題点	<ul style="list-style-type: none"> 会場への商品搬送 →高額なクロネコの時間指定配達に驚き、色々な案を模索 →幸運にも当日、RSSC説明会開催でラウンジ開室を発見、第一案へ 開店前の陳列中、“商品物色”、“買いたい”の嵐への対応 会場の残商品、片付け、撤去(今回は「とN協」へ依頼、箱は養老乃瀧に依頼) 紙袋への対応(多く提供していただいたため、数を数えた方がよい) 値付け附箋紙(はがれやすい) 我々の寒さ対策、イスなどの対策不備 先生やRSSC関係者が来るので、旗があればなお良い お客様のシートへの膝まづく人が多い(縁は開けておいた方がいいかも) 雨天時への対応(全く考えていなかった) NewsLetter18号へのフリマ参加記事

感想

坂田博久「昨日26日（土曜）、天候にも恵まれ、予定通り、恒例の池袋西口公園フリマ（全体で75店舗）に出店いたしました。会場へのご来場、出店品のご協力誠にありがとうございました。9期生古根村さんを中心に9期生4名、8期生1名、5期生2名で販売し、約24000円の売り上げでした。残品が少しある為、12月11日（日）、「えんがわ市・池袋第二公園」のフリマに再度出店します。お蔭さまで、フリマ出店の為の準備段階からのノウハウが蓄積されてきました。これからも毎年度、フリマ出店したいと思います。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。」

村上富士子「午後からの参加でした。売り物が大きく減っていたのは皆さんの奮闘の賜物です。フリマの売り子は「待ち」の姿勢が普通ですが、今年のコミ研メンバーはお客様に声をかけ呼び込む「攻め」の態勢。目を見張りました。買ってもらえなくても、お客様とのおしゃべりがお互いに楽しそうでしたね。昨年の反省、適正な価格をつける（安すぎる値段設定はまとめ買いを誘い、売上の貢献度が下がる）ことを、前日にできたのも大きな前進と思います。」

齋藤恭子「去年に続き、2回目の参加となった西口公演フリマ。売り上げも順調で、大成功のうちに終わることが出来、大きな達成感を得ることができた。8期では、ただ一人の参加だったが、他の期のメンバー、とくに9期の皆さんと交流できたのも、私にとって得るところが大きかった。（私自身は参加できず、申し訳なかったのですが）前日に値付けなどの準備を終えていたことが、よかったと思う。課題の一つとして、値札の問題があると思う。ポストイットではすぐに剥がれてしまうので、荷札などを検討してみたら如何かと思う。」

小澤健司「当日は、天候にも恵まれ、多くの方が、買い物に来てくださいました。商品もほとんど、販売でき、盛況のうちに、終了することができました。日本の方だけでなく、外国の方々とも交流ができ、有意義な一日でした。」

小島久美子「初めての経験でしたので、フリマの準備期間は少し大変でした。当日は晴天に恵まれ、お客さまとの会話や売り買いの駆け引きなどで時間があっという間に過ぎ、楽しい一日でした。いい体験ができました。皆さまありがとうございました。」

竹田恒夫「初参加。対面販売という行為事態も初めてでしたので、皆さんのお役に立つか不安でしたが、何とか対応出来て満足しています。運営の仕方については改善の余地はあるとは思いますが、コミ研の活動として大いに自慢し、継続させていくべきと思いました。」

古根村正「7月に“サンシャインフリマに参加する”の命題を受け、本日の池袋西口フリマの終了までの5か月の間、多くのアドバイスや協力を頂き、無事終了できたことに感謝いたします。坂田会長、小石澤さん、村上さん、8期と9期生の研究会仲間、そして商品を大量に供出してくださった高橋輝暁先生やRSSCの仲間に大いに感謝します。そして会場にて声をかけてくれた上田（恵）先生やRSSCの橋詰SB研会長はじめRSSC仲間へも「ありがとう」。そして多くのアイデアを頂きながら9月にお亡くなりになってしまった落合先輩「無事開催できましたよ」と。」

「一つのイベントを作り上げることは大変なことだな」と思います。とにかく色々な問題が発生しました。最も仲間と議論したのがラウンジと会場との搬送問題。ところが神風、「RSSC 説明会開催あり、当日までラウンジに一晚、世話になりたい」の名案発生、これには坂田会長や坪野谷先生、足立課長や事務室の方々の支援でなんとか乗り越えることができました。「頑張っている人には周りは協力してくれるのですね」と研究会員は感激。そして当日、一番驚いたのが、開店前の怒涛のお客様の嵐。周りの80軒に近いフリマはほぼセミプロの方々。我々にはフリマのノウハウはないことから“てんやわんや”で「まだ、販売できません」、「これ買うわ」の押し問答。「ノウハウ」って大事ですね。(フリマは開始前に掘出物見つけ隊の嵐が)

立教 RSSC のパンフを置いていたところ、「立教の OB です」や「面白そうなシニア大学だね」と関心を持っていただいた方もいました。ちょっとは広報できたかな。次回は旗がほしいね。「やはり池袋は立教の街でした。」

次年度以降も、研究会の恒例活動として、また RSSC の秋の風物詩として定着することを期待しつつ、そのためにも、開催のノウハウをためていくことが必要です。(ポストイットの値札がパラパラ、ひらりと)

そして、最後まで「チラシはカラーで」と意地を張ってすみませんでした。 以上

2016.01.12 版